

加賀市当初予算 主要事業の概要一覧

(平成 26 年度 3 月補正予算含む)

(新)：新規事業(49件 708,436千円)
 (拡)：拡充事業(14件 647,532千円)
 (P)：別冊「予算説明会資料」の掲載ページ

将来への 備え 1

健康・福祉を
増進します

健康・福祉を
増進します

子どもを産み育てたいと思われる
まちづくりを進めます

- 1 **拡**こども医療費助成の拡充 144,500 千円 (P26)
- 10 月診療分から、医療機関窓口での医療費支払いが不要となる「現物給付方式」を導入するとともに、1 ヶ月 1,000 円の自己負担を撤廃。併せて助成対象について、中学生までを高校生までに拡大
- 2 **新**こども育成相談センター運営事業 14,007 千円
- (P27) 発達に遅れや心配のある児童・生徒やその家族などに対して、相談、通所訓練等により支援。現在の「幼児教育相談室」の名称を改めるとともに、支援の対象年齢を拡大して機能を拡充
- 3 **新**出産準備手当給付事業 8,700 千円 (3 月補正)
- (P14) 子育ての前段階の妊娠期から出産に備えた支援を行うため、妊娠 16 週を迎える方に、胎児 1 人につき 10,000 円を給付
- 4 保育園施設整備事業
- (1) **新**市立保育園整備事業（実施設計）
- 10,440 千円 平成 28 年度に実施する動橋保育園と作見保育園の空調更新工事等の実施設計
- (2) **新**私立保育園整備助成事業
- 115,015 千円 私立保育園が実施する施設整備に対して助成。（山中保育園新築助成、聖光保育園空調更新助成、キッズランドいなみえん防水工事等助成）
- 
- 5 子育て世帯臨時特例給付金事業 34,400 千円
- 消費税率引上げの影響を緩和するため、臨時福祉給付金の対象世帯を含め、子育て世帯に対して対象児童一人あたり 3,000 円を支給



医療・福祉・介護の連携体制の構築を進めます

- 6 統合新病院建設事業 7,111,468 千円 (P23)**
- 加賀市民病院と山中温泉医療センターを統合し、急性期医療と救急受入れ機能を強化した統合新病院を建設（建設工事費、医療機器整備費、病院統合支援業務委託費、引越し等の開院準備費など）
- 7 地域医療推進事業 1,356 千円 (P24)**
- 地域医療体制についての市民向け講演会や校区等に密着した地域医療説明会を実施するほか、医療者と救急隊の連携体制を推進するための（仮称）救急医療懇話会を開催
- 8 医師招へい推進策事業 6,022 千円 (P25)**
- 医師派遣に係る大学との連携強化、加賀市にゆかりのある医師への働きかけ、医学生の研修受入れ等により、統合新病院で勤務する医師の招へい策を実施
- 9 在宅医療・介護連携推進事業 2,999 千円** 医師会をはじめ、関係機関、市が連携し、在宅医療と介護を一体的に提供できる体制の構築を図るため、検討会議・研修会の開催、在宅医療コーディネーターの配置、市民啓発の講演会・シンポジウム等を実施
- 



高齢者がいきいきと安心して暮らせる まちづくりを進めます

- 10 介護予防事業（一次予防事業・二次予防事業）**
70,476千円
 介護予防・認知症予防・生活習慣病予防を図るため、高齢者の社会参加の推進、地域での自主活動の拡充、二次予防事業対象者把握事業により、専門の事業所による各種予防教室を地域で開催

A man and a woman are shown from the chest up, looking out towards a large body of water. The man, on the left, is older with grey hair and is wearing a light blue button-down shirt. The woman, on the right, has dark hair and is wearing a light-colored top. They are both smiling and looking towards the right side of the frame. In the background, there is a vast expanse of water under a bright blue sky with scattered white clouds. The water appears calm, and the horizon is visible in the distance.

- ## 12 地域見守り支えあいネットワーク事業 4,880 千円
- 見守りが必要な高齢者や障がいのある方等の要支援者の情報を、町内会、民生委員等の支援者が把握し、日頃の見守りや災害時における円滑な支援体制を推進

障がいのある方が「あたりまえ」に暮らせる
まちづくりを進めます

- ### 13 じりつ支援協議会運営事業 335 千円
- 障がいのある方への支援体制に関する課題について関係機関が情報を共有し、障がいのある方が地域で安心して生活できるための支援体制を推進

その他の事業

- 14 臨時福祉給付金事業 119,300 千円**
所得が少ない世帯に対して、消費税率引上げの影響を緩和するため、平成 27 年 10 月からの 1 年分として一人あたり 6,000 円を給付

将来への 備え 2

都市基盤を
創造します

都市基盤を
創造します

市民が安全に安心して生活できる
環境の構築を進めます

- 15 防災力の強化事業 49,062 千円
- (1) ④ 防災緊急情報伝達システム（防災行政無線）整備事業
41,594 千円（P20） 防災緊急情報を市内全域に知らせる伝達システムを整備（27 年度は実施設計と本庁におけるセンターシステムを整備）
- (2) ⑤ セミナーハウスあいりす太陽光発電パネル設置（実施設計）事業 3,348 千円（P20）
災害時に災害対策本部とする可能性があるセミナーハウスあいりすにおいて、非常電源を確保するため太陽光発電パネルを設置し、防災対応力を強化

- (3) 市総合防災訓練事業 1,000 千円 (P19)
市民が主役となった防災訓練として、関係機関が連携して実施
- (4) 新 防災備蓄資機材整備事業 1,000 千円 (P19)
避難所開設に必要な食料、備品等を計画的に備蓄
- (5) 新 自主防災組織リーダーの
養成事業等 2,120 千円
(P19) 市民の「自助」「共助」
による地域防災力を高めるため、防
災士の養成、民間防災団体のネット
ワーク化支援などを実施
- 



平成 26 年度市総合防災
訓練の様子

- 16 消防力の強化事業 76,500 千円
- (1) ④ 湖北分団車庫整備事業 15,900 千円 (P41)
老朽化した湖北分団車庫を改築
- (2) ④ 消防ポンプ自動車更新整備事業 47,604 千円
(P41) 消防署と大聖寺第 1 分団の消防ポンプ車を更新整備
- (3) ④ 消防広報車更新整備事業 5,139 千円 (P41)
大聖寺分署及び山代分署の広報車を更新整備
- (4) ④ その他の事業 7,857 千円 (P41)
消防団へのデジタル無線受令機配備、山中分署庁舎改修など

将来への 備え 2

続き

都市基盤を 創造します

- 17 ④ 小学校体育館の非構造部材耐震化事業 223,400 千円
小学校体育館の照明器具、バスケットゴール等の落下防止対策を実施
- 18 ④ がけ地災害防止工事助成及び被災応急復旧工事助成事業 3,000 千円
がけ地の崩壊による被害を防止するため、がけ地の防災工事費又は被災した場合の応急処置費の一部を助成
- 19 ④ まちなか広場整備事業 58,400 千円
旧片山津温泉総湯跡地において、防災機能を備えた広場を整備
- 20 創設拡張事業
(1) ④ 山中浄水場 活性炭注入施設建設事業 85,320 千円 (P45) 異臭味対策として山中浄水場において活性炭注入施設を整備
(2) 配水管網整備事業 112,142 千円
国道 8 号拡幅、加茂バイパス整備に伴う配水管布設工事など
- 21 老朽管更新事業 355,522 千円
漏水防止と水質悪化対策として老朽水道管を更新（大聖寺上木町、富塚町、山代温泉南町、山中温泉湯の本町、松が丘ほか）
- 22 公共下水道事業
(1) 污水管渠築造事業 462,700 千円 (P44)
打越町、高塚町、山代温泉 10 区、山中温泉長谷田町ほか
(2) 雨水管渠築造事業 21,000 千円 (P44)
片山津温泉 2 区

地域間ネットワークの整備を進めます

- 23 道路網整備事業
(1) 市道 A 第 172 号線道路改良事業 247,200 千円 (P39) 大聖寺上木町～三木町
(2) 加美谷線整備事業 105,000 千円 (P40)
山中温泉長谷田町地内
(3) 市道 C 第 432 号線道路改良事業 34,000 千円
小菅波町地内
(4) 市道 C 第 174 号線道路改良事業 26,000 千円
庄町地内



工事が進む加美谷線（山中温泉長谷田町地内）



平成 26 年 11 月に完成した市道 B 第 14 号線（山代温泉 1 区～河南町）

コンパクトシティに向けた取組みを進めます

- 24 地域交通対策事業 69,526 千円
（当初予算 46,126 千円 3 月補正 23,400 千円）
(1) ④（仮称）KAGA あんしんネット構築事業 30,480 千円（一部 3 月補正）(P21)
① 生活バス路線の温泉大聖寺線の新設及び吉崎線延伸の実証運行費 7,080 千円
② キャンバスの橋立・動橋循環線の実証運行費（3 月補正）8,223 千円
③ 乗合タクシーの市内全域導入の実証運行費（3 月補正）15,177 千円
(2) その他の事業 39,046 千円 (P22)
生活バス路線維持・活性化助成、住民が運営する乗合タクシーへの運行助成、おでかけ応援車両保険料など
- 25 ④ 加賀温泉駅前活性化調査事業 2,000 千円
北陸新幹線加賀温泉駅整備を見据え、駅舎のデザインコンセプトや駅前広場等の活性化の方向性を調査検討
- 26 ④ 北陸新幹線整備事業負担金 40,000 千円
北陸新幹線整備工事に係る法定の地元負担金



将来への 備え 3

まちづくりと 人づくりを 支援します

各地区の特色を活かした市民との協働の まちづくりを進めます

- 27 まちづくり運動助成事業 82,926 千円
各まちづくり推進協議会が責任と自主性をもって行うまちづくり活動への助成
- 28 ④ 地域における住民主体の活動支援事業 500 千円
「向こう 3 軒両隣り」に表される地域の包括的な連携の姿として、防犯、交通安全、ごみ処理、介護予防事業などの地域が抱える課題に取り組む活動をモデル事業として助成
- 29 地区会館整備事業 99,500 千円
(1) ④ 動橋地区会館大規模改修事業 96,600 千円
(2) 塩屋地区会館改修事業 2,900 千円

対策 人口減少

人口減少対策を進めます

- 30 移住住宅取得助成事業 23,600 千円
(1) ④ 移住住宅取得助成 21,500 千円（3 月補正）(P12)
市外からの移住者を対象に、新築住宅又は中古物件（市空き家バンクに登録された物件）の購入に伴う費用の一部を助成
(2) ④ 空き家バンクの創設 1,100 千円 (P12)
（3 月補正）
空き家情報をデータベース化し、ホームページ等により情報を発信
(3) ④ 加賀市周遊ツアーの開催 1,000 千円 (P12)
（3 月補正）
(1)の移住住宅助成を受けようとする者等を対象に、市の魅力を知るツアーを開催

- 31 ④ 婚活支援助成事業 600 千円 (P13)
結婚につなげることを目的とした独身男女の出会いの場を創出するなどの事業を行う団体に対して、その費用の一部を助成

- 32 ④ 大学院大学 Uターン入学支援事業 600 千円 (P13)
北陸先端科学技術大学院大学と連携し、Uターン入学者への奨励金制度を導入し、市内への Uターン移住及び市内産業を牽引する人材育成を促進。奨励金の額は一人あたり年間 300 千円。北陸先端大も同額を助成（小松市、能美市との共同事業）
- 33 こまつ・のみ・かが合同就職面接会等開催事業 250 千円 (P13)
小松市・能美市と合同で就職面接会等を開催し、地元企業と求職者との効果的なマッチングを促進
- 34 ④ 加賀市インターンシップ事業（企業見学会）100 千円 (P14)
加賀市と包括連携協定を締結している県内大学等と連携した企業見学会の開催により、市内企業における優秀な若手人材の確保を支援し、地場産業の強化、地域活性化を推進
- 35 若年者 Uターン雇用奨励金事業 1,600 千円 (P14)
市外から Uターンし、市内事業所に正規雇用された若年者及びその若年者を正規雇用者として 6 か月間雇用した市内事業所に奨励金を交付。市外へ流出した若年者の Uターンを促すとともに、市内事業者における若年者人材の確保、地域産業の振興を促進
- 36（再掲）こども医療費助成の拡充 144,500 千円 (P26)
- 37（再掲）出産準備手当給付事業 8,700 千円（3 月補正）(P14)

将来への 備え 4

行財政 改革

行財政改革
を推進しま
す

行財政改革を進めます

38 ⑨議会活性化推進事業

1,320 千円 (P18)

各議員にタブレット端末を貸与し、議会関連資料を電子化することによるペーパーレス化と、文書の保存・管理、スケジュール管理等による効率化を推進



加賀市議会 議場

39 ⑨固定資産台帳整備事業（地方公会計の整備）

7,000 千円

総務省から要請されている地方公会計の整備に向け、既に整備済みの「公有財産システム」に道路、農道、橋梁等の資産に係るデータを付加し、「固定資産台帳」として整備

40 下水道事業公営企業会計移行事業

12,850 千円

公営企業会計への移行に向けて、経営状況や資産状況を明確化して、施設整備や更新計画等を適切に実施（平成 26 年度～28 年度）

41 行政評価「公開外部評価会」開催事業

449 千円

市が行った事業について、市民や有識者による行政評価委員が、有効性などについて検証する公開外部評価会を開催



公開外部評価会

成長 戦略 1

産業

産業の成長
と創造を
図ります

「スマートウェルネス
KAGA」の推進

地場産業の基盤強化を進めます

42 「加賀市産業振興行動計画」策定事業

1,230 千円

43 産学官連携体制構築事業

1,310 千円

産業振興の基本方針等を定める「加賀市産業振興行動計画」を策定するとともに、企業、大学、金融、行政の連携により、ものづくり産業を中心とした支援体制を構築



加賀市産学官連携円卓会議

44 産業人材育成支援事業

2,200 千円

加賀商工会議所が行う産業人材育成事業に対して助成支援

45 新商品開発助成事業

3,300 千円

中小企業が行う商品・サービスの開発費に対して助成支援

46 ロボット産業推進事業



平成 26 年 11 月のロボレーブ加賀大会

(1) ⑨（仮称）ロボレーブ世界大会 2015 in 加賀開催事業

11,000 千円

（3 月補正）(P56)

世界的なロボット教育大会である「ロボレーブ」の世界大会を開催。市内小中学生のほか、市外や海外からのチームの参加を予定。（開催日 11/21～23 スポーツセンター）

(2) ⑨ロボレーブ国際大会参加事業

3,100 千円

平成 26 年 11 月に開催された「ロボレーブ加賀大会」の成績優秀チームによる、アメリカでの国際大会への参加

(3) ⑨ロボット研究支援事業

1,000 千円 (P35)

市内機械・電機業界や大学関係者を交えてロボット産業への参入に向けた研究・検討を行う研究会を立上げ

47 伝統工芸等担い手育成事業

960 千円

伝統工芸等従事者の販路開拓や工房借上に対して助成

48 山中漆器振興推進事業

10,588 千円 (P36)

山中漆器の振興及び山中木地挽物轆轤技術の保存・向上を推進

49 九谷焼振興推進事業

1,300 千円

加賀九谷陶磁器協同組合への活動助成のほか、九谷焼工房の開設支援や後継者奨励金制度を実施



50 ⑨加賀市プレミアム商品券事業

109,016 千円

（3 月補正）(P55)

国補正予算による交付金を活用し、額面よりもお得な「プレミアム商品券」（販売額 10,000 円で 12,000 円分）を発行・販売。更に、子どものいる世帯にはプレミアム率を引き上げて経済的な子育て支援を実施

地域資源を活用したメイドイン加賀の展開を進めます

51 食のブランド化事業

1,400 千円

「坂網鴨」や鴨料理文化の認知度向上に向けた食談ツアー等の実施

52 地産地消・6 次産業化推進助成事業

437 千円

J A 加賀による「かぼちゃ焼酎」の商品開発に対して助成

53 ⑨企業等顕彰事業

100 千円

商品開発、技術革新等の産業振興の実績を上げた企業・人材を顕彰

新たな産業の創造に向けた取組みを進めます

54 ⑨企業誘致推進事業

12,220 千円 (P38)

事業所適地の調査や企業情報の積極的な収集を行うほか、企業誘致の実務経験等を有する「企業誘致専門官」により都市圏での活動を強化

「スマートウェルネス KAGA」の推進



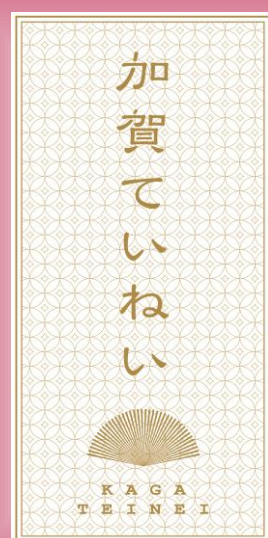
地域資源を活かし、健康・医療・福祉・介護分野での新たな産業群の創造や、関連する成長分野であるロボット研究の推進などを重点的に行い、魅力ある企業や地域の創造を図る。

本市の未来都市像として、魅力ある企業が集積し、人々がいきいきとするまち「スマートウェルネス KAGA」を目指す。

成長戦略2

観光

観光を推進します



観光PRの強化を進めます

55 コンベンション誘致助成事業 14,000 千円

市内で宿泊するイベント、学会、合宿等の参加者に対して助成

56 ⑧首都圏プロモーション事業 37,600 千円 (P31)

観光誘客の効果的な手法を有する民間事業者のノウハウを活かし、首都圏を始めとした都市圏での観光プロモーションを展開し、北陸新幹線金沢開業を契機とした更なる誘客を促進

57 加賀温泉郷情報発信事業 15,000 千円

全市的な視点に立った観光情報の発信や宣伝事業を展開し、加賀温泉郷全体の魅力を総合的に情報発信し、観光誘客を促進

58 ⑨北陸新幹線金沢開業誘客促進事業 6,000 千円

北陸新幹線金沢開業を機に、戦略的な地域の魅力づくりと情報発信強化を展開し、観光誘客を促進



「共創」環境の構築を進めます

59 温泉地誘客促進事業

(1) ⑧三温泉観光誘客助成事業 54,500 千円 (P29)

山代・山中・片山津の三温泉の魅力創出や情報発信に対して助成。また、源泉の揚湯・配湯施設の整備、維持管理に対して助成

(2) 観光地ブランド化推進助成事業 24,000 千円

(P29) 三温泉地がそれぞれの個性を活かし、魅力を創出するソフト事業に対して助成

(3) ⑨温泉地回遊性向上事業 5,000 千円 (P30)

若い世代の観光客に対して三温泉の総湯利用を期間限定で無料化し、加賀温泉郷の話題性を高めるとともに将来のリピーターを確保



加賀片山津温泉総湯

(4) 加賀市観光交流機構事業助成金 12,000 千円

加賀市観光交流機構が行う誘客事業に対して助成

(5) ⑧観光二次交通対策事業 5,796 千円

加賀ゆのさと特急の本格運行により金沢から加賀温泉郷への二次交通アクセスを向上させるとともに、小松空港から加賀温泉郷へのアクセスも含めた小松空港活性化を推進する。

自治体外交を進めます

60 ⑧海外都市交流事業 10,000 千円 (P28)

都市交流協定を締結した台湾の台南市・高雄市並びに友好交流を進めているシンガポールとの交流を実施

61 ⑨インバウンド推進事業 15,000 千円 (P28)

台湾等で行われる国際的かつ大規模な旅行博・物産展への参加や、海外メディアの活用により加賀温泉郷の魅力を国外に発信

62 広域連携事業

(1) 越前加賀広域連携事業 2,164 千円

県境においてあわら市と共同設置する「越前加賀県境の館」の運営負担金及び越前加賀宗教文化街道推進協議会の負担金など

(2) 周辺自治体等との広域連携事業負担金 1,450 千円

加賀地域連携推進会議など、広域での誘客に取り組む会議への負担金

イベントの戦略的な活用を進めます

63 東京駅加賀の魅力発信事業 9,100 千円

(1) ⑨（仮称）東京駅南加賀観光物産展 5,800 千円

(P34) JR 東日本等と連携し、東京駅において南加賀の食品や伝統工芸品等を販売。小松市・能美市との共同事業（開催期間 7/31～8/2）

(2) ⑨（仮称）東京駅加賀美味しいフェア 3,300 千円

(P34) 東京駅レストラン街 70 店舗で、加賀市産の農産物や水産物を使ったオリジナルメニューを提供。加賀農協、石川県漁協加賀支所が協力（開催期間 7/31～8/31）

64 九谷焼開窯 360 周年記念事業 6,622 千円

（加賀九谷焼 360 周年記念事業企画実施委員会開催費を下記と別に 200 千円計上）

(1) 永青文庫展覧会事業 1,720 千円 (P32)

東京・目白台にある美術館「永青文庫」で、古九谷 20 点余りや九谷焼現代作家の作品 30 点余りを展示し、首都圏の富裕層を顧客として確保（開催期間 H27 3/21～6/28）



(2) ⑨加賀九谷焼展開催事業 2,500 千円 (P32)

東京駅構内の「東京ステーションギャラリー」で、九谷焼特別展を開催。小松市・能美市との共同事業（開催期間 8/1～9/6）

また、JR の大型旅行キャンペーン「北陸デスティネーションキャンペーン」期間中は、石川県九谷焼美術館のほか 2 市の美術館で特別展を同時開催し、誘客を更に促進（開催期間 10/3～12/20）

(3) ⑨石川県九谷焼美術館 特別展開催事業 1,302 千円 (P33)

① 加賀九谷の系譜展 ～古九谷から現代加賀九谷まで～

（開催期間 9 月 13 日～28 日）

② 古九谷・吉田屋 青手九谷の世界展

（開催期間 10 月 1 日～平成 28 年 1 月 31 日）

(4) ⑨文化講演会開催事業 900 千円 (P33)

古九谷窯が開かれた月である 6 月に、テレビ等で活躍する焼き物の鑑定士 中島誠之助氏による講演会を開催（開催日 6/21 山中座）

65 ⑨（仮称）加賀橋立・山中 北前船寄港地フォーラム開催事業 4,500 千円 (P16)

全国の北前船寄港地で開かれている北前船寄港地フォーラムを開催し、加賀橋立重要伝統的建造物群保存地区をはじめとした加賀市の魅力を発信

ガーデン・シティ構想を進めます

66 ⑧ガーデン・シティ推進プラン策定事業 2,900 千円

緑化推進の基本計画とする（仮称）ガーデンシティ推進プランを策定



成長戦略3

環境自然

自然環境を守ります

ガーデン・シティ構想を進めます（再掲）

67（再掲）ガーデン・シティ推進プラン策定事業 2,900 千円

68 ポイ捨て等のない美しいまちづくり推進事業

334 千円 ごみのポイ捨て、飼い犬・飼い猫の糞の放置、路上喫煙のない美しいまちづくりを市民・事業者・市が一体となって推進

ラムサール条約追加登録に向けた取組みを進めます

69 ラムサール条約登録範囲拡大事業 9,117 千円

国にラムサール条約登録範囲の拡張を働きかけるとともに、柴山潟流域の生物多様性を保全するため、「ふゆみずたんぼ」の定着を推進



柴山潟

70 坂網猟師の後継者育成事業 288 千円

坂網猟師の後継者を育成するため、坂網猟の体験教室、後継者育成説明会を開催

71 ⑨鴨池観察館改修整備事業 7,200 千円

坂網猟の情報を発信するため、坂網猟資料を展示する内装工事等のほか、映像展示システムを更新

成長戦略4

教育力

教育力を
高めます

教育内容と教育環境の充実を進めます

72 ⑦きめ細かな指導のための臨時講師の配置 7,919 千円

小学校において、1 学級の児童数が 35 人を超える場合に臨時講師を配置し、きめ細かな指導の体制を確保（錦城東小、動橋小、山代小の 3 校で 4 人を配置）

73 学校教育研究事業 2,546 千円

国語力、英語力の向上の取組み、サイエンステクノロジー教育の推進、講演会等による学ぶ環境づくりなどを実施

74 中学校普通教室等冷房化事業 152,000 千円

山代中学校は工事の実施。片山津中学校は実施設計



山代中学校

75 中学校講堂暖房設備機能復旧事業 9,300 千円

山代中学校は工事の実施。片山津中学校は実施設計

76 ⑦小学校トイレ洋式化事業（実施設計） 800 千円

小学校のトイレを洋式化。27～31 年度の間に順次実施。27 年度は錦城小、作見小、山代小の実施設計

77 ⑦シンガポール教育交流事業 260 千円

シンガポールとの教育交流に向けた協議を行う。

生涯学習と生涯スポーツの支援を進めます

78 ⑦加賀温泉郷マラソン 2015 開催事業 36,400 千円

（P43） 市民をはじめ全国からのランナー約 3,000 人の参加により、三温泉を巡るコースで開催

（開催日 4/19）



79 スポーツ推進計画策定事業 1,045 千円

スポーツ基本法に基づき、競技・生涯スポーツの振興、スポーツ施設整備等の基本方針を定める当該計画を策定

80 ⑦家庭教育支援事業 750 千円 （P42）

家庭教育支援条例（平成 27 年 3 月議会上程）に基づき、（仮称）家庭教育支援推進会議の設置、親育ちのための講演会・学習会、家庭教育支援の人材育成の学習会などを実施



81 九谷磁器窯跡保存整備事業 98,733 千円

国指定史跡九谷磁器窯跡（山中温泉九谷町）において、遺構展示・修景植栽工事等を実施



九谷磁器窯跡

82 伝統的建造物群保存地区の保存整備事業

63,101 千円 建造物の保存修理に対する助成のほか、市所有の建造物の整備

（1）加賀橋立伝統的建造物群保存地区の保存整備事業 14,025 千円



加賀橋立伝建地区



加賀東谷伝建地区

（2）加賀東谷伝統的建造物群保存地区の保存整備事業 49,076 千円

合併10周年

平成二十七年
十月一日

加賀市合併10周年記念事業

83 ⑦合併10周年記念式典の開催 2,029 千円 （P15）

合併 10 周年記念表彰、市のシンボル等の発表を行う。
（開催日 10 月 4 日（予定））

84 ⑦合併10周年記念誌作成事業 4,200 千円 （P15）

市の歩みや記録写真等を盛り込んだ合併 10 周年の記念誌を作成する。

85 ⑦合併10周年記念 市のシンボル等検討事業 （P15） 505 千円

合併 10 周年を迎えるにあたり、市の花・鳥・木、キャラクター等の制定を検討し、市民の加賀市への愛着を高める。

加賀市合併10周年記念 冠事業

86 （再掲）九谷焼開窯 360 周年記念 石川県九谷焼美術館 特別展開催事業 1,302 千円 （P33）

87 （再掲）九谷焼開窯 360 周年記念 文化講演会 開催事業 900 千円 （P33）

88 （再掲）（仮称）加賀橋立・山中 北前船寄港地フォーラム 開催事業 4,500 千円 （P16）

89 ⑦NHK 公開番組運営協力事業 1,100 千円 （P16）

音楽番組の公開収録を NHK との共催で開催（番組は「BS 日本のおた」を予定）

90 ⑦ラ・フォル・ジュルネ金沢 加賀会場開催事業 200 千円 （P17）

クラシック音楽の魅力を伝える「ラ・フォル・ジュルネ金沢」（4 月 28 日～5 月 5 日）の加賀会場として、クラシックコンサートを市内で開催

91 （再掲）加賀温泉郷マラソン 2015 開催事業 36,400 千円 （P43）

92 市民文化講演会 1,292 千円 （P17）

市民の教養を高めるとともに、豊かなライフスタイルを提供することを目的として、著名な講師による講演会を開催